

日銀山形事務所長

猪又 祐輔さん(52)



1997年に日本銀行に入行以来、本店の15部署中、11部署に勤務した。調査統計から人事、施設管理まで幅広い分野を担当し、その都度学びながら、さまざまな角度から物事を見る姿勢を養った。「山形でもこれまでの経験と学びを生かし、先行きが見通しにくい経済情勢を丁寧に説明したい」と抱負を語る。

幅広い職歴の中でも印象に残る場面がある。経済・景気分析を担った約20年前のこと。設備投資関連の統計の分析を、数時間後の金融政策決定会合までにまとめなければならなかった。緩やかに

この人

で、今後も堅調に伸びる」と判断した。結果は判断通り。景気判断の一つに貢献できた達成感があった。

上昇していた数字が下降に転じていた。一時的な現象か、下落が続くのか。企業の声や過去の事例を踏まえ、「一時的な下降

前担当は日銀全体の警備や現金供給などを担当する文書局管理課の課長。「目立たない業務」だが、全体を支えている

ことを実感した。

相模原市出身で東大経済学部卒。入行後に1年間英国留学した他は本店勤務で、支店・事務所への赴任は初めてだ。「仕事で学ばせてもらうのはもちろん、山形生活で多くのことを感じたい」と話し、趣味のスキーができる冬を心待ちにしている。

鉄道好きで、数年前には息子と一緒に東京から愛知、長野、新潟を経由して東京に戻る「一筆書き」の列車の旅をしたことも。鉄道手帳を片手に、「山形でもいろんな電車に乗りたい」と表情を緩めた。妻と長女、長男、次女を都内の自宅に残し、単身赴任。

(大坪千絵)